

妊娠中にインフルエンザ治療としてラニナミビル投与を受けた患者さんへ (臨床研究に関する情報)

現在、全国の参加施設において以下の臨床研究を予定しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] インフルエンザ治療薬laninamivirと妊娠予後の関係

[研究機関] 本邦の産科施設

[研究責任者] 水上 尚典 (産科・科長)

[研究の目的]

インフルエンザに妊娠婦人が罹患すると重症化しやすいことが知られています。そのため、抗インフルエンザ薬が使用される場合があります。しかし、2010年10月から使用可能となった抗インフルエンザ薬（一般名、ラニナミビル、商品名イナビル）が妊娠に及ぼす影響については、新薬のためまだよく研究されていません。今回の研究は2011年10月1日～2012年3月31日の6ヶ月間、ならびに2012年10月1日～2013年3月31日の6ヶ月間に全国の産科施設で妊娠中にラニナミビル投与を受けた妊娠婦人の妊娠結果について検討し、ラニナミビルの妊娠に及ぼす影響について検討することを目的としました。

[研究の方法]

● 対象となる研究資料

2011年10月1日～2012年3月31日の6ヶ月間、ならびに2012年10月1日～2013年3月31日の6ヶ月間にラニナミビル投与を受けた妊娠婦人の分娩週数や児の出生体重、ならびに生後1週以内に判明した児の異常（形態異常、黄疸、人工呼吸器装着の有無、その他）

[個人情報の取り扱い]

私どもが利用する情報には、患者さんを直接同定できる個人情報は含まれていません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は含まれません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院産科 担当医師 水上 尚典
電話 011-706-6932 FAX 011-706-6932